特 2008 集
THE BSSC JOURNAL
特集号 2008年12月19日発行

びわこ成蹊スポーツ大学新聞 Biwako Seikei Sport College
THE BSSC JOURNAL

びわこ成蹊スポーツ大学の「今」を伝える
© びわこ成蹊スポーツ大学新聞編集部
発行＝びわこ成蹊スポーツ大学メディア研究会 〒520-0503 大津市北比良1204番地 http://www.bsscjournal.net/

びわスポ戦士 目指せ大学日本一

夢舞台へ弾むブルーイレブン 悲願のインカレ初出場

創部6年目でビッグチャンスをつかんだびわスポサッカー部が12月20日から東京で開かれる第57回全日本大学選手権に挑む。昨春の関西学生リーグ初制覇に続く快挙で、松田監督が掲げてきた「日本一を狙うクラブ」へ歴史的な一歩を踏み出す。

関西学生リーグは今季から1シーズンの通算成績でリーグ優勝を争う通年制に変わった。4月に開幕した前期リーグのびわスポは3位で折り返し、9月からの後期リーグは阪南大と激しい首位争いを展開。終盤で桃山大に初黒星を喫して2位に後退したが、目標のインカレ出場枠（3位以内）を手にした。「強さともろさが同居したチーム」としばしば指摘されるが、2トップの平野、篠部を軸に仕掛けるプレーは多彩。スピードとテクニックにあふれ、リーグ最多の46ゴールをあげた破壊力は、本番のインカレでも大きな期待がかかる。不安は守備。4－2のシステムは、カウンター攻撃など後手に回ると思わぬミスが出て失点につながる。リーグ制覇した阪南大の失点6に対しびわスポは22失点。攻守のバランスに欠けるのが唯一の不安。インカレは長丁場のリーグと違い、一発勝負のトーナメント戦。先手必勝が勝利への近道になる。1回戦は九州リーグの強豪、福岡大と対決する。「4回生にとっては、これが最後の公式戦。悔いが残らないようにガンガン攻めて勝ちに行きます」。1年生からレギュラーで活躍した主将の舩津の闘志が、ブルーイレブンを力強く、たくましく引っ張る。

【GK】下西　要（3年）
自分たちは挑戦者。一戦一戦挑戦者としてがんばりたい。

【DF】山田　尚幸（3年）
人生初の大舞台。楽しみたい。

【DF】内野　貴志（2年）
大学は初出場だが一回でも多く勝って、チャレンジャーとして、強豪といわれる有名大学を倒していきたい。

【DF】中原　亨（4年）
目標は優勝。失点を0に抑えたい。

【DF】小川　優（4年）
4年間いろいろな人に支えてもらい、お世話になってきた。その人たちへの感謝の気持ちをプレーに表し、「日本一」で恩返しをしたい。

【MF】舩津　徹也（4年）
一日でも長くこのチームでサッカーがしたい。そのためには勝ち続けるしかない。優勝します。

【MF】湯田　逸友（1年）
点を決めたい。積極的に動いてチームに貢献できるプレーをする。

【MF】浅津　知大（1年）
チームの勝利に貢献したい。

【MF】小池　遼（3年）
びわこらしく、ひとつずつ勝っていきたい。汗かき役として動き、得意の左足で得点に絡んでいきたい。

【FW】篠部　拓真（3年）
試合に出るからには、絶対に点を取る。必ず勝つ。

【FW】平野　甲斐（3年）
「関西に、びわこの平野あり」と思わせるプレーをしたい。

決勝トーナメント予定表

流通経済大学	国士舘大学
仙台大学	関西大学
福岡大学	札幌大学
びわこ成蹊スポーツ大学	九州産業大
中京大学	中央大学
広島経済大学	浜松大学
新潟医療福祉大学	高知大学
筑波大学	阪南大学

リザーブ選手

新中　剛史（4年）
点を取って、日本一になります。

安本　真哉（2年）
全国に向け、チームのレベルを上げることが必要になる。その中で個人のレベルも上げていきたい。自分らしいパスを全日本で見せたい。

澤西　宏典（2年）
悔いの残らないプレーをしたい。決定的なパスを出し、チャンスがあれば点をとりにいきたい。

村井　孝暢（3年）

林　将志（2年）
日本一になるために、チームに貢献したい。

瀬古　朋広（3年）
自分の持っている経験を活かし、力を出しきりたい。優勝します。

土井　俊典（1年）

【マネージャー】
谷崎　達哉（4年）
これが最後。選手一人ひとりが自分たちのプレーに集中できるよう、練習の時からしっかりサポートして、残り少ない日々を、一日一日噛み締めながらやっていきたい。

戦いの跡(あと)

リーグ準優勝

試金石の戦い

打倒関東―大学日本一をかけた舞台に初めて挑むびわスポ・イレブンをはじめ、阪南大、関大の関西勢の合言葉である。流通経済大、国士舘、筑波大、中大の強豪がそろう関東勢が誇る「攻め」のサッカーに、関西勢は「守り」のサッカーで対抗する。

過去56回の大会を振り返ると、大学サッカーの勢力は、圧倒的な「東高西低」である。優勝は早大の13回を筆頭に関東勢が51回を誇り、関西勢は1967年の第16回大会で関大が初めて王座につき、大商大4度、大体大1度で関西勢の優勝も、85年以来遠ざかっている。実力均衡の強豪がひしめく関東リーグとそうでない関西勢との環境の違いが「東高西低」の大きな一因であり、勝利へのこだわりが関東勢の攻撃的なサッカーにつながる。創部6年のびわスポにとって、念願の大学選手権は将来への試金石になる戦い。1回戦で9年連続33回出場の伝統チーム、福岡大と対決し、勝てば、ベスト8で強豪流通経大の対戦が予想される。松田監督の「しっかり守るサッカー」は、カウンターから速攻で勝負をかけるが、FW平野、篠部の攻撃力が勝利へのカギを握っている。

最優秀選手　船津

11月2日(日) VS 関大
長居スタジアム第2陸上競技場　14時キックオフ

学生リーグ後期第7節が長居第2陸上競技場で行われた。阪南大と同率首位で初の全日本大学選手権出場を狙うびわこ成蹊スポーツ大は、同じく全日本出場を目指す関西大学との一戦を迎えた。

関大はこの日の一戦を学祭の一環にあて、一般学生を応援に動員していた。赤のユニフォームを身にまとう応援団は、びわスポの応援団を大きく上回るおよそ250人。サポートでは劣勢の雰囲気の中でゲームは始まった。

前半、得点チャンスをつくるが、得点につなげる事ができないまま、0-0。後半に入り、6分には小池がシュートを放つもGKの正面を突いた。流れを変えたいびわスポは、11分に篠部から澤西を、15分には小池から瀬古を投入。直後の21分、関大に攻め込まれFKとCKのセットプレーからピンチを招いたが、下西の好セーブで切り抜けた。32分には逆にチャンスを迎える。浅津のパスに平野が反応。シュートは外れたもののCKを得る。しかし、瀬古があげたボールはGKにパンチングで阻まれ得点につなげる事はできなかった。41分には安本が20メートルのロングシュートを放つも、枠の上。なかなかゴールネットを揺らす事ができない。

ロスタイムに入り、「同点のまま勝ち点1か」と諦めかけたその時、待っていた瞬間が訪れる。エリア内で浅津が倒され、PK。「キッカーは船津」という周囲の予想に反し、ボールを置いたのは、船津と同じ4年生で、この日後半41分出場の新中。プレッシャーを振り払うかのように振り抜いた右足のボールは見事ゴールのど真ん中に突き刺さった。

勝ち点3を諦めなかったチームが最後まで攻め続けた結果だった。

この日は、関西学生リーグでは初めてになるスポンサー名をつけて新しいユニフォームのお披露目の試合でもあった。胸に「KIRIN」の文字をつけ、胸を張るイレブンはどこか誇らしげだ。全国にびわこの青いユニフォームと、強いサッカーをみせつける時、イレブンはさらなる自信と誇りを胸にピッチを駆け抜けているだろう。

最優秀選手　平野

11月15日(土) VS 同志社大
鶴見緑地球技場　14時キックオフ

創立6年目を迎えた本学にとって、待ちに待った瞬間が訪れた。

本学の学生で「びわスポといえば?」と聞かれ、「サッカー」と連想するものは少なくないはずだ。約200人の部員を抱えているのだから当然なのかもしれない。そんな象徴的存在ともいえるサッカー部が、開学以来の目標だった、初の全日本大学選手権の切符を手に入れた。

11月15日(土)に鶴見緑地球技場で行われた関西サッカー学生リーグ後期第9節の同志社大戦を2-0で勝利し、2戦を残し、全国出場枠の3位以内を確定させた。

試合が動いたのは、後半23分だった。右サイドでパスを受けた平野から瀬古にパスがつながり、先制点を奪うと、38分には船津のパスにうまく反応した澤西が相手DFを振り切り2点目をあげた。守備のミスからピンチを迎える場面はあったものの、チームで守りきり同大の反撃を振り切り、今季11度目の無失点勝利をあげた。この日、1アシストをきめた平野は、アシスト数を16に伸ばしリーグランキングで単独トップに立った。1点目をきめた瀬古も9得点で、得点ランキング3位につけた。さらに交代した選手が松田監督の期待に応えて貴重なゴールをあげるシーンも多い。この層の厚さもびわスポの強さといえる。今季ここまでのチーム総得点は43。そのうち9得点が途中交代の選手による得点で、しっかり守って得点を取るというシンプルなサッカーに磨きがかかっている。

最優秀選手　篠部

11月24日(月) VS 阪南大
西京極球場　14時キックオフ

秋の行楽シーズンたけなわの11月22日からの3連休の最終日、秋の都を楽しむ観光客たちをしり目に西京極競技場に足を運ぶ。そこには、冷たい雨が降り続く中ピッチを駆け抜けるイレブンの姿があった。

大詰めに入っていた関西学生サッカーリーグ第10節。2位のびわこ成蹊スポーツ大学は、勝ち点3差で首位をいく阪南大学との首位攻防戦を迎えた。勝てばリーグ優勝の可能性も残される試合だったが、決定点を奪うことができず、結果はスコアレスドローに終わった。

首位を守りたい阪南大と、勝ち点3をとって並びたいびわスポ大。互いに失点を避けるために守備を固める。阪南大はここまでリーグを通しての失点が6。対するびわスポ大は20。しかし、後期9戦での失点は2と安定感が出てきている。正確にボールを捌き、早く短いパスをつなぎチャンスを作り出す阪南大の攻撃に、全員で粘り強く守備をする姿はレベルアップしたびわスポサッカーの力を証明するものであった。激しい攻守の中で、何度か危ない場面もあったが相手のミスもあって、無失点に抑えた。しかし、勝利のためには得点が必要。びわスポ大同様、守備を固める相手ディフェンスを前に得点チャンスを作り出すことができない。それに加え、冷たい雨。ボールのトラップミスが目立つのもその影響か。前線へボールが送り出されても決定機はつかめない。チャンスはゼロではなかったが、結果、ゴールネットを揺らすことはできなかった。

新人賞　浅津

11月30日(日) VS 関学
長居スタジアム第2陸上競技場　11時30分キックオフ

初めての全日本大学選手権の切符を手に入れたびわスポイレブンがリーグ最終戦の関学戦に臨んだ。

11月30日(日)、長居スタジアム第2陸上競技場で争った一戦は2、3位のかかった攻防戦が行われた。関学には前期快勝していただけに、全日本大学選手権への勢いをつけたかったが、結果は2-2に終わった。

びわスポがいきなり先手をとった。開始1分、左サイドから湯田の出したパスに船津が頭であわし、先制点を奪う。船津のゴールは京産大戦以来6試合振りで、後期2得点目。貴重な先制点をチームキャプテンがあげ、波にのると、直後の10分にも、篠部のパスを受けた小池が2点目を奪った。後期はここまで失点2と安定した守備力をみせているイレブンが本領発揮。前半終了間際にはカウンター攻撃からピンチを迎える場面もあったが、GK下西の好守備で無失点に抑え折り返した。しかし、2点のリードは逆に攻守に油断を生む。今季のびわスポの戦いをみても20失点のうち12失点が後半に奪われている。この試合が最終戦となる関学大の4年生が後半開始から意地を見せる。9分、小関の左サイドからのパスを、青戸が得点につなげ、さらに1分後、速攻今度は金尾に同点ゴールを奪われた。あっという間に同点にされたびわスポ大は、その後、再三得点チャンスを迎えるが、関学GK原田の好セーブに阻まれ、追加得点をあげることができなかった。

試合後行われた表彰式では、チーム準優勝のほかでも、4選手が表彰を受けた。優秀選手賞に、船津、平野、篠部の3人が選ばれ、平野はアシスト王とのダブル受賞となった。新人優秀賞にも1年生浅津が選ばれた。チームが「フェアプレー賞」を受賞したことは松田監督がめざす「ファールのないサッカー」が認められた証だ。受賞は選手だけにとどまらず、「ベストマネージャー賞」も谷崎が受賞し、優勝を逃したとはいえ、びわスポのサッカーは高い評価をうけた。

対戦及びスコア表

	対戦校		スコア	得点者
【前期】				
第1節	近大	○	2―1	山田　篠部
第2節	京産大	●	0―4	
第3節	立命大	○	3―0	瀬古(2)　篠部
第4節	桃山大	○	2―1	鳥濱　篠部
第5節	関学大	○	3―0	瀬古　二戸　平野
第6節	大教大	○	4―0	平野　瀬古(2)　篠部
第7節	大院大	○	3―2	篠部(2)　小池
第8節	姫独大	●	3―4	瀬古(2)　船津
第9節	関大	○	2―1	篠部　岡野
第10節	阪南大	●	1―4	山田
第11節	同大	○	5―0	船津　瀬古　安本　平野　下
【後期】				
第1節	近大	○	3―0	小池　平野　山田
第2節	大院大	○	3―0	篠部(2)　平野
第3節	大教大	○	3―0	内野　平野　澤西
第4節	姫独大	△	1―1	浅津
第5節	京産大	○	1―0	船津
第6節	立命大	○	2―0	篠部　澤西
第7節	関大	○	1―0	新中
第8節	桃山大	●	0―1	
第9節	同大	○	2―0	瀬古　澤西
第10節	阪南大	△	0―0	
第11節	関学大	△	2―2	船津　小池

2008年度　第86回　関西学生サッカーリーグ　星取表

順位	大学名	阪南大	びわこ大	関西大	関学大	同大	京産大	桃山大	大院大	大教大	立命大	近畿大	姫獨大	勝	負	分	得点	失点	得失点差	勝ち点
1	阪南大		○4―1 △0―0	○2―0 △0―0	△0―0 ○3―0	○1―0 ○4―0	△1―1 ●0―1	△1―1 ○5―0	○1―0 △1―1	○1―0 ○1―0	○1―0 ○4―0	○2―1 ○1―0	○4―0 ○5―0	15	1	6	42	6	36	51
2	びわこ大	●1―4 △0―0		○2―1 ○1―0	○3―0 △2―2	○5―0 ○2―0	●0―4 ○1―0	○2―1 ●0―1	○3―2 ○3―0	○4―0 ○3―0	○3―1 ○2―0	○2―1 ○3―0	●3―4 △1―1	15	4	3	46	22	24	48
3	関西大	●0―2 △0―0	●1―2 ●0―1		○1―0 ○1―0	○2―0 ○2―0	○5―2 ●1―3	○2―1 △1―1	○2―1 △1―1	○3―2 ○2―1	△1―1 ○2―1	○2―0 ○2―0	○3―1 ○9―0	14	4	4	43	20	23	46
4	関学大	△0―0 ●0―3	●0―3 △2―2	●0―1 ●0―1		○1―0 ○2―1	△1―1 △1―1	○3―0 ○2―0	○1―0 ○5―0	△0―0 ●2―4	○3―1 ○1―0	○1―0 ○2―1	△2―2 ○2―1	11	5	6	31	22	9	39
5	同大	●0―1 ●0―4	●0―5 ●0―2	●0―2 ●0―2	●0―1 ●1―2		○2―0 ●0―2	△0―0 ●0―2	●1―4 ○5―4	○1―0 ○1―0	○1―0 ○1―0	○3―1 ○4―2	○3―0 ○2―0	10	11	1	25	34	-9	31
6	京産大	△1―1 ○1―0	○4―0 ●0―1	●2―5 ○3―1	△1―1 △1―1	●0―2 ○2―0		●1―8 ○1―0	●2―4 ●0―2	●1―2 ●2―3	○1―0 △0―0	△1―1 ○4―3	●0―2 ○4―0	8	9	5	32	37	-5	29
7	桃山大	△1―1 ●0―5	●1―2 ○1―0	●1―2 △1―1	●0―3 ●0―2	△0―0 ○2―0	○8―1 ●0―1		△0―0 ○1―0	●0―2 ●0―1	●0―1 ●0―4	○3―1 ●0―2	○2―0 ○3―2	7	11	4	24	31	-7	25
8	大院大	●0―1 △1―1	●2―3 ●0―3	●1―2 △1―1	●0―1 ●0―5	○4―1 ●4―5	○4―2 ○2―0	△0―0 ●0―1		○3―0 △2―2	△2―2 △0―0	●2―3 ○1―0	●0―1 ○1―0	6	10	6	30	34	-4	24
9	大教大	●0―1 ●0―1	●0―4 ●0―3	●2―3 ●1―2	△0―0 ○4―2	●0―1 ●0―1	○2―1 ○3―2	○2―0 ○1―0	●0―3 △2―2		△1―1 ○1―0	●0―4 ●0―1	●1―2 ○2―0	7	12	3	22	34	-12	24
10	立命大	●0―1 ●0―4	●1―3 ●0―2	△1―1 ●1―2	●1―3 ●0―1	●0―1 ●0―1	●0―1 △0―0	○1―0 ○4―0	△2―2 △0―0	△1―1 ●0―1		○2―1 ○7―1	○2―0 ○2―0	6	11	5	25	26	-1	23
11	近畿大	●1―2 ●0―1	●1―2 ●0―3	●0―2 ●0―2	●0―1 ●1―2	●1―3 ●2―4	△1―1 ●3―4	●1―3 ○2―0	○3―2 ●0―1	○4―0 ○1―0	●1―2 ●1―7		○2―0 ○1―0	6	15	1	26	42	-16	19
12	姫獨大	●0―4 ●0―5	○4―3 △1―1	●1―3 ●0―9	△2―2 ●1―2	●0―3 ●0―2	○2―0 ●0―4	●0―2 ●2―3	○1―0 ●0―1	○2―1 ●0―2	●0―2 ●0―2	●0―2 ●0―1		4	16	2	16	54	-38	14